

先端理工学部誕生

—創立380年・瀬田学舎開学30年を契機に理工が変わる—

Ryukoku Univ. Alumni News No. 90

龍谷大学
校友会
会報



〔校友総数 195,000名〕
2020(令和2)年3月12日
第90号
発行＝龍谷大学校友会
編集＝校友会広報部
<https://www.ryukoku.ac.jp>

京都市伏見区深草塚本町67
龍谷大学内
校友会事務局
TEL.075-645-2015 FAX.075-645-2017

〔連絡先変更のお届けなど〕

龍谷大学校友会HP→



第30回龍谷賞・校友総会……2面
Who's who・校友音楽祭……3面
経営者登場・校友最前線……4面
海外で活躍する校友・校友会員の皆様へ……5面
各学部同窓会からの報告・龍谷小町……6面
支部の活動・クラブ・サークル……7面
仏教に学ぶ・校友のお店……8面

理工学部長
松木平淳太先生



開設30年の理工学部

創立350周年記念事業として開設された理工学部は、開設30年を契機に20年4月先端理工学部へと生まれ変わります。

この30年間で理工学部は約1万3千人の卒業生を輩出してきました。50代の熟年期を迎えようとされている1期生の方々に先頭に、卒業生が社会の各方面でリーダーとして活躍し始めているという話を最近よく聞きます。

この1月に開催された新春技術講演会でも、しつ

分野横断的な取り組み

このような確固たる実績を積み上げてきた理工学部が、なぜ、また、どのように変わろうとしているのか？

龍谷大学は常に「進取と伝統」の大学であり続けてきました。理工学部は、30年間積み上げた歴史の上に、時代を先取りした先端的な学びの仕組みを取り入れ、「先端理工学部」へとアップグレードします。

少子高齢化、地球温暖化、グローバル化といった社会課題を解決するためには、人工知能等の先端領域の活用をベースにしつつも分野横断的な取り組み

みが不可欠です。そのために全国理工系学部として初めて「課程制」を導入し、従来の学科間の垣根を低くします。

また、「人工知能」、「データサイエンス」、「IoT・通信ネットワーク」、「航空宇宙」、「先端ロボティクス」、「生命機能化学」、「先端環境モニタリング」等の25のプログラムを設置し、どの課程からでもこれらのプログラムを学べるようにします。

さらにクォーター制（4学期制）を導入し、短期間での集中的な学びを可能にするともに、3年次第2チームに必修授業のない主体的活動期間「RCap」を設置し、海外留学、長期インターンシップ、ボランティアなどの活動を通して、大学の学びを深めることができます。

学びの場を教室以外の場所へと広げるために、キャンパス全域無線LANをベースとしたPCC提携化、主体的・創造的な活

動の推進とものづくりの活性化を目的とした新たな活動スペースの整備も進んでいます。

き挙げたネットワークは大変貴重なものであり、是非とも力を貸していただきたく考えております。未来への境界線はここにあり、そこに新学部の学生と卒業生の皆様と共に立っています。境界線は一人一人にとってのフロンティアであり先端です。

No one will be left behind. すべての人が、先端です。（松木平淳太）

深草キャンパス学生会館跡地に

成就館が完成



2020年1月末現在



写真提供 文藝春秋写真部

川越宗一さん 第162回直木三十五賞受賞

龍谷大学文学部史学科に在籍されていた川越宗一さんの『熱源』が、第162回直木三十五賞を受賞されました。

校友会としても喜ばしいニュースとしてお祝い申し上げます。川越さん、本当におめでとうございます。



『熱源』
四六判 432頁
文藝春秋 1,850円＋税
19年8月28日発行

龍谷ミュージアム 春季特別展

「ブッダのお弟子さん ―教えをつなぐ物語―」

仏教の開祖であるブッダは西暦前5世紀ごろのインドで思想を広めました。その教えをつないだのは、ブッダを支えた十大弟子や十六羅漢、そして維摩居士に代表される在家信者たちでした。彼らの葛藤は経典の中に物語として伝えられています。

本展では、インドや中国、日本などに受け継がれた絵画や彫刻を通して、その特徴的なエピソードとともに彼ら（その個性の違いなど）を紹介します。

- ◆会 期：2020年4月18日(土)～6月14日(日)
- ◆休館日：月曜日（ただし5月4日は開館）、5月7日
- ◆開館時間：10:00～17:00 ※入館は16:30まで
- ◆入館料：一般1,300円
- ◆問い合わせ：龍谷大学 龍谷ミュージアム

TEL: 075-351-2500 FAX: 075-351-2577
<https://museum.ryukoku.ac.jp/>



〈重要文化財〉
十六羅漢像のうち
第十四位那婆斯尊者
中国/元時代 所蔵 妙興寺(愛知)

次回予告

シリーズ展7
「仏教の思想と文化 ―インドから日本へ―」
2020年7月11日(土)～8月16日(日)

龍谷ミュージアム 無料ご優待券

期日：2021年3月28日(日)まで
(お一人様1回限り、
同伴者1名含め
無料でご入館いただけます)

切り取ってご使用ください

全国校友大会 in 東北 「東北だヨ！全員集合！！」

1日目：9月5日(土)

卒業生交流会：「東北自慢 ～いきなりうめえな、これ!!～」

～ホテルのお料理とともに、東北銘菓コーナー、銘酒コーナーを存分にお楽しみください～

- ◆定 員：200名
- ◆時 間：17時30分～19時30分
- ◆場 所：江陽グランドホテル(仙台市)
- ◆参加費：新卒生(2020年3月卒業生)1,000円、
20代卒業生2,000円、30代卒業生3,000円、
その他年代の卒業生5,000円(大学生以下無料)
卒業生同伴者5,000円(大学生以下無料)

◆参加対象者：卒業生、卒業生同伴者

2日目：9月6日(日)

バスツアー：旧大川小学校に学ぶ「防災、減災。いのちを守る行動と想い」

- ◆定 員：100名
- ◆時 間：8時～13時30分(予定)
- ◆行 程：JR仙台駅前集合 出発 → 旧大川小学校 → JR仙台駅前
または川内萩ホール

◆参加費：一律3,500円(バス代、昼食弁当費、保険料諸経費込み)

◆参加対象者：卒業生、卒業生同伴者

龍谷大学吹奏楽部チャリティー合同演奏会 開催

- ◆出演校：龍谷大学、東北大学、聖ウルスラ学院英智高等学校
- ◆定 員：1,200名
- ◆時 間：13時15分開場/14時開演/16時20分終演(予定)
- ◆場 所：東北大学百周年記念会館 川内萩ホール(仙台市)
- ◆参加費：無料
- ◆参加対象者：卒業生、卒業生同伴者、一般

・要事前申込み(定員になり次第締切)
・申込みは4月1日(水)～ ・詳細は校友会HPにて

2020年度 龍谷大学「心の講座」in京都

会場：龍谷大学響都ホール 校友会館
(要事前申込み・参加費無料)

4月25日(土)

- 英月 師 (真宗佛光寺派大行寺住持)
「私にかかわる見えないはたらき」
- 山極 壽一 氏 (京都大学総長)
「共感力と創造力を育てるために」

6月27日(土)

- 狭川 普文 師 (華嚴宗管長・第223世東大寺別当)
「アジア諸国における仏教事情」
- 小林 エリコ 氏 (作家)
「精神障害者の私が目指す共生社会について」

9月26日(土)

- 大來 尚順 師 (浄土真宗本願寺派超勝寺住職/著述家/翻訳家)
「身近な仏教：何気ない日本語を振り返る」
- 長倉 伯博 師 (浄土真宗本願寺派善福寺住職
滋賀医科大学非常勤講師)
「共感と響感～臨床僧侶の経験から～」

10月17日(土)

- 宮城 泰年 師 (本山修験宗総本山聖護院門跡 門主)
「山は師」
- 高島 幸次 氏 (大阪大学招聘教授/大阪天満宮文化研究所員)
「落語に学ぶ豊かな心」

11月21日(土)

- 玉木 興慈 氏 (龍谷大学文学部教授)
「よきひとの仰せ」
- 柱本 めぐみ 師 (浄土真宗本願寺派明覺寺住職/歌手/ふじたアート代表取締役)
「お話をコンサート『こころを聴く』」

主催：龍谷大学校友会 龍谷大学校友会各支部
龍谷大学各学部同窓会
共催：読売新聞社

※やむを得ない事情により講師やテーマが変更されることがあります。
※各回の内容、申込みの開始日や申込方法は校友会のホームページをご確認ください。
(お問い合わせ) 株式会社 西日本MICE営業部 06-6342-0230

2019年度 校友総会開催

11月3日、顕真館において校友総会が開催されました。赤松徹眞校友会会長の挨拶に続き議長が選出され、18年度の事業報告と決算報告、19年度の事業の基本方針と予算について説明がありました。母校を盛り上げ、校友会のさらなる発展を確認しました。



第30回 龍谷賞受賞者



赤松徹眞校友会会長と受賞者とそのご家族
(宮城さんと大來さんは代理の方が出席されました。)

11月3日、第30回龍谷賞贈呈式が行われ、社会に貢献し顕著な業績をあげられた5名の方の功績を称え、さらなる活躍を期待して、龍谷賞が授与されました。

龍谷賞

本山修験宗総本山
聖護院門跡第52世門主
宮城泰年さん
54年文学部卒



龍谷奨励賞

書道家、書法家
武田双鳳
武田哲史さん
99年法学部卒



龍谷奨励賞

浄土真宗本願寺派超勝寺住職
著術家、翻訳家
大來尚順さん
05年文学部卒



龍谷特別賞

車いすフェンシング選手
臨床宗教師
藤田道宣さん
10年文学部卒



龍谷特別賞

プロボクサー
竹迫司登さん



卒業後、新聞社勤務を経て、聖護院門跡に帰山され、07年に第52世門主に就任されました。帰山後は、北ベトナムやボル・ポト政権直後のカンボジアなどを訪れ、仏教者と親交を深めながら、ベトナム戦争時の枯薬剤散布で苦しむ人々の医療から職業訓練まで総合的に行える自立支援施設の創設に尽力するなど、長年にわたり支援活動を続けられています。

幼い頃から書道家である母・武田双葉氏に師事し、兄の双雲氏、弟の双龍氏と共に書の道を歩まれました。書道師範取得後、武田双鳳の名でアーティストとしてPUMAやMieleなど海外企業とのコラボレーションのほか、筆文字講師として活躍され、主宰する京都と大阪の書法道場には全国の門下生150人が集い、「書を通じて人生を豊かに」をモットーに「豊かに生きる力」を伝えられています。

卒業後、米国仏教大学院に進学し、修士課程修了後、ハーバード大学神学部研究員に就任されました。帰国後、多岐にわたる国内外への仏教伝道活動は多くのメディアにも取り上げられ、翻訳、講演やテレビ番組への出演など国際経験を活かし幅広い世代の注目を集められています。また、東京オリピック・パラリンピックの英語ボランティア向けの文化講座では、英語での基本的な仏教の説明の仕方を伝えられています。

車いすフェンシング選手として、日本選手権・国際親善大会(福岡)フルレ1位、アジアパラ競技大会(インドネシア)フルレ2位、エベ3位、フルレ団体3位、IWA Sワールドカップモントリオール大会(カナダ)フルレ3位などの成績を収めました。車いすフェンシング日本ナショナルチームの精神的な支えとして活躍されています。また、パラスポーツの普及、皆が参加できる社会の実現に向けての活動は顕著です。

中学生の頃から、ボクシングの指導を受け、龍谷大学在学中は12年に関西学生リーグ戦(団体)で優勝し、さらにMVPを獲得されました。プロデビュー戦をTKOで勝利を飾ると、その非凡な才能を発揮し、プロ8戦目で日本ミドル級タイトルを獲得、その後も無敗を継続中でKO勝利率100%の成績を収められ、現在第61代日本ミドル級王者として3度防衛されています。(受賞時)

ホームカミング・デー2019

創立380周年 瀬田学舎開学30周年

10月26日(瀬田)と11月3日(深草)の両日、第97回龍谷祭と第48回学術文化祭でにぎわう中、ホームカミング・デーが開催されました。



三日月滋賀県知事と入澤学長との対談

瀬田キャンパスは、89年4月に開学して今年で30周年。龍谷大学創立380周年と併せて瀬田学舎開学30周年の記念事業として、SDGsに関する対談会、シンポジウム、コンテスト、理工学部・社会学部・農学部が主催するイベントに、各学部同窓会も関わり多くの校友が集いました。



農学部ベジタブルコンテスト



家族連れでにぎわうデザートコーナー



学生のステージパフォーマンス

深草キャンパスでは、例年行われる校友総会や学生のステージや龍谷賞贈呈式、龍谷ミュージアムツアーに加え、創立380周年記念企画スライド

ショーの上映も行われ、さらに今回は食堂にデザートコーナーが設けられました。

今秋も龍谷祭・学術文化祭とあわせてホームカミング・デーを開催する予定です。

龍谷大学創立380周年 校友会からの寄付について

校友会から次の事業に対して寄付を行いました。

(1) 学生の学びを支援する事業

学生の留学を支援する仕組みとして、やる気と熱意をもつ学生が一人でも多く留学できるよう、「校友会海外留学奨励金」を創設。経済的理由により、留学したくてもできない学生に対する支援。

寄付金額：5,000万円

(2019年度から5年分 1,000万円×5年)

(2) 大学の施設整備などの環境整備を支援する事業

地域に親しまれる大学としての社会的存在価値を高め、龍谷大学の認知度向上を図るための支援。

寄付金額：5,000万円

また、校友会員、校友会各支部、各学部同窓会などからも様々な事業に対して、寄付がなされました。

法曹支部5周年記念 定期総会・講演会・懇親会
10月19日、法曹支部設立5周年記念定期総会、講演会、懇親会を行いました。今回は、新たに法曹支部に入会される中国上海で弁護士としておられる馬弁護士をお迎えして中国の法律事情について講演いただきました。懇親会では来賓の皆様、弁護士、司法修習生と交流を深めることができ、とても楽しい会となりました。ご協力ご支援いただきました皆様に心より感謝申し上げます。(事務局長坂口俊幸)



香川県支部・愛媛県支部 設立20周年記念合同事業
9月28日、高松興正寺別院において二支部合同の講演会・落語会を開催し、一般の参加もあり80名の参加をいただきました。林家染二さん(85年法卒)による講演会は、老人・医療・若者の問題について笑いを交えながらもわかりやすいお話しでした。林家染二さんと桂よね一さん(10年経済卒)による落語会はお寺ということもあり、聞きやすく雰囲気もありとても好評でした。懇親会では、香川県政策部の大山部長より大学との就職協定のご報告があり、また、徳島県と高知県の支部の方々の参加により、四国四支部の活動についても話し合いができ、良い機会となりました。(香川県支部事務局長三野正博)



校友 Who's Who

医学博士
坂上 倫久さん
(04年理工学部 物質化学科卒)



81年大阪府生まれ。滋賀医科大学大学院医学研究科（博士課程修了 医学博士）。
13年愛媛大学先端研究・学術推進機構プロテオサイエンスセンター助教を経て、15年より、同大医学部心臓血管・呼吸器外科学講座講師。趣味はサッカーや釣り。

医学博士
山根 拓也さん
(96年理工学部 物質化学科卒)



73年京都府生まれ。滋賀医科大学大学院医学研究科（博士課程修了 医学博士）。
08年北海道大学大学院薬学研究院特任助教、講師を経て16年度から大阪府立大学生命環境科学研究科客員研究員。

龍谷大学から 医学研究への道

山根 拓也さん

95年に4回生（理工学部物質化学科）になったとき、京都大学から赴任された大西俊一教授が主宰する研究室で卒業研究を行うことになりました。生化学の研究を希望していましたが、当時の滋賀医科大学生物化学教室教授であった土井田幸郎博士の紹介もあり、滋賀医科大学生物化学第二講座の大久保岩男教授のもとで、プロテアーゼについて研究することになりました。ちょうど同じ時期に、京都大学化学研究所の高橋敏教授より、プロテアーゼと密接に関わるペプチド科学についても指導を受けることとなり、龍谷大学、滋賀医科大学、京都大学の三大学での充実した生化学研究環境に恵まれることになりました。

修士課程を修了後は、滋賀医科大学の博士課程に入学し、大久保教授の下でプロテアーゼの構造と機能に関する研究に従事しました。この間、同研究室に在籍していた龍大の学生は10名を超え、その中でも、竹内圭介さん（藤原研究室8期）、坂上倫久さん（藤原研究室12期）らが、後に滋賀医科大学大学院博士課程へと進学し、博士（医学）の学位を取得しました。龍谷大学理工学部で習得した物質化学的知識が、医学研究に応用展開し、また、その研究技術がメデイカルサイエンス分野でも通用できることを証明できたと考えています。

滋賀医科大学分子神経科学研究センターで博士研究員（アルツハイマー病原因遺伝子の機能解析に従事）を経て、その後は北海道大学大学院薬学研究科で特任助教・講師を歴任し、教育・研究に従事しました。北大では、パーキンソン病原因遺伝子PARKINがcGMPを介してプロテアーゼを調節することを世界で初めて発見するとともに、その技術は食品機能

性研究にも応用しました。現在は、北大での研究成果のさらなる発展を目指して、大阪府立大学で食品機能性による糖尿病肥満などの生活習慣病やアルツハイマー病などの、神経変性疾患の予防・改善に関する研究を進めています。

坂上 倫久さん

藤原研究室（理工学部物質化学科）で培った分析化学をベースに滋賀医科大学大学院で学位取得した後、愛媛大学医学部生化学分子遺伝学教室の東山繁樹教授のもとで血管新生研究を進めることになりました。

人体最大の臓器と言われる血管は、体の様々な臓器に張り巡らされており、各臓器・組織への物質の運搬や老廃物の回収を担うことで、身体の恒常性維持に必須の役割を果たしています。しかし、一度血管機能に異常が起ると、がんや循環器疾患に発展します。その代表例が血管新生です。血管新生はその名の通り新しい血管が形成される生命現象ですが、成人ではほとんど起こりません。しかし、体内に固形腫瘍



共著：
『北のスーパーフード アロニア』
(北海道アロニア研究会)



単著論文：
Beneficial Effects of Anthocyanin From Natural Products on Lifestyle-Related Diseases Through Inhibition of Protease Activities, Studies in Natural Products Chemistry, Volume 58, 2018, Pages 245-264



第47回日本心臓血管外科学会学術総会

物質化学と 医学の融合

.....

校友会主催 校友音楽祭in 龍谷大学響都ホール 校友会館



吹奏楽部クラリネットアンサンブル



出演者・観客全員で“ヤングマン”



京炎そでふれ! 輪舞曲 (ロンド)



出演のみなさんとスタッフ



Blues Sky

11月17日、校友音楽祭が龍谷大学響都ホール校友会館にて開催されました。

ロビーには、野外活動部の学生たちが設けた小さなお子さまが遊べるコーナーもあり、これまでに以上若い世代の校友が多数集まりました。

オープニングは、現役学生の「京炎そでふれ! 輪舞曲(ロンド)」による創作演舞。客席に迫りくる勢いと若さみなぎる美しい舞いに圧倒されました。続く全国コンクール金賞受賞の吹奏楽部の現役学生によるクラリネットアンサンブルは圧巻の一言に尽き、4人の息の合った心地よい演奏が会場を魅了しました。

校友による演奏のはじまりは、軽音・JAZZ研究会同窓会バンド「Shabby & New」。今年で5回目の出演ということもあり、円熟味ある安定した演奏でした。黄色いトマトOB・OG会の「Blues Sky」は卒業後に結成したグループで、ライプのもつ迫力と女性ボーカルの歌声に会場が引き込まれました。

そして最後は「吹奏楽部OB・OG会」。途中、若林義人監督にタクトが譲られ、そのサプライズに喜びと緊張感ある演奏に。松田聖子さんの曲のメドレーは、懐かしつつい歌を口ずさみ、西城秀樹さんの「ヤングマン」では大きく手を広げて会場全体で音楽祭を満喫しました。

今回出演した団体は、校友にとつて馴染みのあるクラブ・サークルです。学生時代が思い出され、現役学生との世代を超えた共演(競演)に胸を熱くした音楽祭となりました。



小さなお子さまが遊べるコーナー



Shabby & New

世界最高峰、惜しみない愛情と情熱を持って
アイスホッケー選手時代
小学1年から始めたアイスホッケーを続けるため龍谷大学に進学しました。

校友最前線
(株)十勝ロイヤルマンガリツツアファーム
<https://royal-mangalica.jp/>
牧場長 **藤田 隆宏**さん
(06年国際卒)

マンガリツツア豚との出会い
16年4月に北海道十勝にある株式会社丸勝に入社し、同年6月に世界で唯一「食べられる国宝」に認定されているマンガリ原産の豚「マンガリツツア豚」をオランダ経由で25頭生体輸入に成功。アジア初となる国宝の管理をするようになりました。



養豚の経験どころか、豚を近くで見たこともありませんでしたが、アジアで誰もやったことがないということはパイオニアになれる大きなチャンスだと感じ、やるしかないと思い決めました。

た。06年に龍谷大学国際文化学部を卒業し、社会人になってもアイスホッケーがしたいという思いから、社会人リーグのある兵庫県の医療・介護の会社に入社しました。約25年間真剣に向き合ってきたアイスホッケーの「世界」への道のりは険しくて高いと痛感、年齢のこともあり引退し、地元北海道十勝へ戻ることになりました。

飼育スタート
養豚のスタートは過酷そのものでした。マンガリツツア豚の行動や飼育方法、飼料設計や豚舎設計、養

豚関係者とのパイプの構築は、全てにおいて初めての試みであり、日本で誰も受け入れたことが無い品種のため、頼れる人や文献がありませんでした。諦めるのはすごく簡単で

あり余る道なかもしれないませんが、生命ある可愛いマンガリツツア豚を見捨てるわけにはいかなしい、自分自身に決して負けたくもありませんでした。

2年前、本場マンガリへ視察に行き世界の頂点をとれると確信し、株式会社十勝ロイヤルマンガリツツアファームとして独立しました。新しい豚舎を建て、従業員を4名採用し、繁殖から出荷まで一貫生産を行ってあります。また「十勝ロイヤルマンガリツツア豚」としてブランド化し、レストランやホテルへ直接販売しています。マンガリツツア豚の肉質は融点が高い脂身や、発色の強い赤身が特徴です。噛めば噛むほど彼らが育った環境、生きた証を感じられると思います。

世界最高峰をめざし
今後は、血統管理、種の保存を第一に考え、年間出荷頭数を500頭にできるように繁殖し、さらには肉質の向上も目指し、世界へ誇れる「十勝ロイヤルマンガリツツア豚」としたいと思っています。
「World's finest with Love and Passion」
(世界最高峰、惜しみない愛情と情熱を持って)

「結婚おめでとうございます」
校友会長名、学長名で祝電を打ちます。
お申し込みは、校友会事務局まで。

氏名	卒年	式月日
小林 健太	11文	9 28
佐古田 あい	15文	
大浦 航祈	14社	10 14
米田 実加	13社	10 19
加藤健太郎	11社	10 19
角本 知史	15社	11 2
山下由規乃	17法	
林 祐介	13経	11 3
浅沼 祐花	13文	
吉原 摩有起	11文	11 10
西山 絹人	10文	11 16
重高 莉沙	10文	
山田 泰弘	11経	12 8
柴田 結美	09文	



お申し込みは、お電話、メール、FAXにて、必ず次の項目をお知らせください。受付は挙式日の1週間前まで。
●氏名(フリガナ)・卒業年・卒業学部※校友同士の結婚の場合は2名とも●挙式日時・会場名(フリガナ)・会場住所・会場電話番号●会報に掲載の可否

プロフィール
大阪市生まれ。88年龍谷大学経済学部卒業。同年松坂屋(現大丸松坂屋百貨店)入社。93年大森屋に入社。製造、営業、企画、商品開発などを経験後、01年に取締役営業本部営業企画担当兼商品開発担当部長に就任。05年常務取締役社長室長兼営業企画部長就任。10年に管理本部長兼営業企画部長を経て、17年代表取締役社長に就任。子会社である大森屋(上海)貿易有限公司董事長を兼務。

経営者登場
(株)大森屋 代表取締役社長
稲野 達郎さん



社長に就任して
就任して2年半が過ぎましたが、社長という職は、刺激があつて充実した日々を送っています。父(先々代)、叔父(先代)は、たたき上げで、従業員は怒られても納得して従っていました。しかし、私の場合は、会社が出来上がった後に入社した身ですので、少し違います。社長の仕事のうち一つは、従業員のモチベーションをどう上げるか、そのための働きやすい環境をどう整備していくかだと思っています。また、社長室の扉は、来客時以外はオープンにし、従業員いつでもウエルカムです。全国の営業所を回り、従業員と共に得意先回りも行います。

主力商品
海苔メーカーは、過去にシェア争いで安売りに走り、消費者に「海苔は安いもの」というイメージを植え付けてしまった一面があります。この反省に立ち、海苔本来のおいしさを楽しめる品質重視の商品作りに力を入れています。現在の主力商品は、「ぱりうま」という味付け海苔、焼き海苔です。国産海苔では最上級とされている有明海産の一番摘み原料だけを使用した自慢のシリーズで



食べだしたら止まらない癖になる食感「パリパリ職人」

学生時代の経験
3年、4年のゼミの先生は、藤永先生でした。4年生に藤永先生担当の基礎ゼミの授業をさせたり、ゼミ合宿では4年生



2019年12月に刷新された「ロゴマーク」

卒業した今でも
卒業から30年ほど経った今でも、1年のときの基礎ゼミの仲間とは、年に一度ぐらいの頻度で集まっています。その中には、放送作家の高須君(校友会報第88号で紹介)もいます。彼の卒業から30年ほど経った事業展開を「愚直」に進めていきます。「めんどくさい」ことに手間をかけて仕上げるのがサビビスであると思っています。その延長線上で、海苔以外の商品を拡充し、海外販路の拡大も視野に入れて、より多くのお客様に支持される総合食品メーカーを目指していきます。

大丈夫、一番難しいのは、親子教室において、最初の挨拶である社長の一言の内容です。海苔の製造工程などを話しても、子供にとっては、右から左。「海苔はどこでとれるか知ってる？」というように、子供にとって、海苔が身近な存在であり続けるよう、平易なもので話すように心がけています。

今後の展望は
以前からやってきたことの継承と世の中の変化を的確に捉えた新しいことへのチャレンジ。

消費者的視点に立った事業展開を「愚直」に進めていきます。「めんどくさい」ことに手間をかけて仕上げるのがサビビスであると思っています。その延長線上で、海苔以外の商品を拡充し、海外販路の拡大も視野に入れて、より多くのお客様に支持される総合食品メーカーを目指していきます。



ヒロ本願寺学園授業風景



日本の遊びに触れる授業（福笑い）

学生時代に学んだ仏教学全般は非常に面白く、なかなか理解しがたい哲学的内容が魅力的でした。特にサンسكريット語の勉強に一生懸命だった記憶があります。大学院時代には同級生の夫と結婚し、子供も授かりました。

夫が開教使に志願し、14年に家族でハワイへ移住しました。ハワイには今も多くの日系人が暮らし

ていて、ハワイ州には現在33の浄土真宗本願寺派のお寺があります。夫はハワイ島ヒロにある本派本願寺ヒロ別院に勤務しています。

私はアメリカの永住権を取得するまでの数年間、ビザの関係で働くことができませんでした。そのため3人の子育てのかたわら、ボランティアでヒロ別院の書道教室を受け持ち、同じくヒロ別院で高齢の方が集まる昼食会のお手伝いをしながら、お寺の門徒の方々と交流を深めてきました。

その後、永住権を得し、一番下の娘がプリスクール（日本でいう幼稚園）に入園したことを機に、日本語教師の仕事を始めることになりました。

私が勤務するヒロ本願寺学園（日本語学校）は、1年生から8年生まで約35名の生徒がおり、教員は私を含めて4名います。月曜日から金曜日までの放課後、毎日授業があります。現在、学園に通ってくる生徒は、日常では英語しか使わない日系4-6世がほとんどです。今年度、私は2年生（7-8才ぐらい）と4年生（9-11才ぐらい）を担当しています。毎日、みんな一生懸命勉強して

他国の文化を理解し、交流することは、言語の壁を越える



本派本願寺ヒロ別院



プロフィール
08年文学部卒業。11年文学研究科修士課程修了。14年に家族でハワイに移住。現在ヒロ本願寺学園にて日本語教師。



家族（本派本願寺ヒロ別院本堂にて）

ハワイへ移住する際、大学の恩師から「子供たちを日米の架け橋となるような人に育ててください」と励ましの言葉をいただきました。

他国の文化を理解し交流することは、言語の壁を越えるとハワイ島に住んでいて感じています。ひとりでも多くの生徒が、相手の文化を尊重し、自分の文化を誇りに思える人になってくれることを願いながら、これからも職務に邁進したいと思っています。

ある日、2年生の生徒が英語で「先生、英語はどこで勉強したの？英語を覚えるの、大変だったでしょ？」と言ってきた。日本語の意味を英語でうまく伝えられず悩んでいた私にとって、思わぬ励みになりました。

2020年度上半期校友会スケジュール 龍谷大学校友会行事〈予定〉

日程	区 分	イベント内容	場 所
4月1日(水)	大学・大学院・短大	入学式(文・済・営・法・政・国・各研究科・短大)	深草キャンパス
4月2日(木)	大学・大学院	入学式(先端理工・社・農)	瀬田キャンパス
4月4日(土)	石川県支部	観桜会	未定(金沢市内)
4月10日(金)	大学・親和会・校友会	ふるさとタイム	深草キャンパス
4月25日(土)	校友会本部他	龍谷大学「心の講座」講師(第1講)英月 節 (第2講)山極 書一 氏	京都市・龍谷大学警都ホール 校友会館
5月17日(日)	阪神支部	総会・講演会・懇親会	コープこうべ生活文化センター
5月21日(木)	校友会本部	校友会授賞式	深草キャンパス・顕真館
5月21日(木)	大学	創立記念降誕会	大宮・深草・瀬田キャンパス
5月23日(土)	大阪・中央支部	総会・懇親会	北御堂津村別院
5月30日(土)	香川県支部	総会・懇親会龍Ron小町ワークショップ	マリナバレスさぬぎ
5月30日(土)	福岡県福岡支部	総会・懇親会	八仙閣
5月	パナソニックグループ支部(紫松会)	若手の集まる会	大阪近郊
6月6日(土)	高知県支部	総会・講演会・懇親会	サンライズホテル
6月7日(日)	三重県支部	総会・講演・懇親会	ホテルグリーンパーク津
6月7日(日)	大阪・北大阪支部	総会・講演・懇親会	高槻市交流センタークロスバール
6月7日(日)	パナソニックグループ支部(紫松会)	甲子園観戦	阪神甲子園球場
6月13日(土)	北海道支部	総会	札幌第一ホテル
6月13日(土)	東京支部	総会・講演会・懇親会	築地本願寺
6月13日(土)	愛知県支部	総会・講演会・懇親会	愛知県産業労働センターウィングあいち
6月13日(土)	鹿児島支部	総会・講演会・懇親会	鹿児島別院
6月26日(金)	桐友会	総会・20周年記念懇親会	未定
6月27日(土)	校友会本部他	龍谷大学「心の講座」講師(第1講)狭川 普文 節 (第2講)小林 エリコ 氏	京都市・龍谷大学警都ホール 校友会館
6月27日(土)	岡山県支部	総会・懇親会	瀬戸の華(瀬戸内市牛窓町)
6月28日(日)	広島県支部	総会・講演会・懇親会	ホテルセンチュリー 21広島
6月28日(日)	福岡県・北豊支部	総会・懇親会・アトラクション	小倉ステーションホテル
6月	東京支部	龍Ron小町交流・懇親 ワインのたしなみ(仮)	らくだ場
6月	奈良県支部	総会・20周年記念事業・懇親会	未定
6月	福岡県・北豊支部	総会・懇親会	未定
6月	南カリフォルニア支部	校友会会員の交流と親睦会	New Port beachのレストラン
6月	龍志会	総会・懇親会	深草キャンパス

日程	区 分	イベント内容	場 所
6月初旬～中旬	兵庫県・丹篠支部	総会・懇親会	未定
6月上旬	神奈川県支部	総会・講演会・懇親会	未定(横浜周辺)
6月上旬	京都市支部	総会・懇親会	未定
6月下旬	鳥取県支部	総会・懇親会	倉吉市内
6月下旬	宮崎県支部	総会・懇親会	宮崎別院
7月4日(土)	職業会計人グループ(RAS)	総会・研修会	深草キャンパス
7月11日(土)	岐阜県支部	総会・講演会・懇親会	ホテルグランヴェール岐阜
7月11日(土)	石川県支部	新卒生歓迎会	アパホテル金沢駅前
7月11日(土)	兵庫県・神明支部	総会・懇親会	ホテルキャッスルプラザ
7月11日(土)	矯正・保護ぎなん会	総会・研究会・懇親会	深草キャンパス
7月	山口県支部	総会・記念講演会・懇親会	萩市内
7月	山口県支部	親睦ゴルフ大会	未定
7月末	京都市支部	ビアパーティー	未定
7月末	大阪・北大阪支部	茨木フェスティバル模擬店出店	茨木市民グラウンド
8月1日(土)	阪神支部	ビアパーティー	三宮・元町駅周辺
8月16日(日)	大阪・中央支部	キッズサンガ	北御堂津村別院
8月22日(土)	愛知県支部	納涼会	未定(名古屋市内)
8月28日(金)	熊本県支部	総会・公開講演会・懇親会	熊本ホテルキャッスル
8月29日(土)	佐賀県支部	総会・懇親会	旅館あけぼの
8月末	ハワイ支部	交流会	未定
9月5日(土)	校友会本部	全国校友大会in東北 卒業生交流会	江陽グランドホテル(仙台市)
9月6日(日)	校友会本部	全国校友大会in東北 バスツアー 旧大川小学校に学ぶ	旧大川小学校
9月6日(日)	校友会本部	全国校友大会in東北 吹奏楽部チャリティー合同演奏会	東北大学百周年記念会館 川内蔵ホール
9月12日(土)	石川県支部	総会・講演会・懇親会	金沢ニューグランドホテル
9月12日(土)	愛媛県支部	総会・講演会・懇親会	ネストホテル松山
9月26日(土)	校友会本部他	龍谷大学「心の講座」講師(第1講)大来 尚順 節(第2講)長倉 佑博 節	京都市・龍谷大学警都ホール 校友会館
9月27日(日)	阪神支部	神戸モダン塾	本願寺神戸別院
9月	龍志会	異業種交流会等	深草キャンパス
9月下旬	鳥取県支部	龍谷ツアー	未定

校友会員の皆様へ

2019年度も佐賀県の大雨をはじめ、関東、信越、東北地域での度重なる台風による大雨などにより、日本各地で多くの方が甚大な被害を受けました。

校友会では、内閣府が発令している災害救助法の適用情報をもとに、甚大な被害を受けた地域の校友に、お見舞状とともにその被害の状況をお伺いするアンケートを送付しています。

同種の取り組みは1995年の阪神・淡路大震災の時から継続して実施しています。2019年度は約3,000名の校友へお見舞状を送付し、約500名の方よりアンケートの返信がありました。その中で1割の方は現地の被害の深刻な状況を詳細に記されており、被害の大きさをあらためて痛感しました。

返信の内容をもとに、被災された方には心ばかりのお見舞いの品をお送りしています。また、大学では、10月27日～29日に学生と教職員合わせて20名が、長野市内に赴き

復興支援の活動を行いました。

現在もご不便な状況にある校友もおられることと存じますが、一日も早い復旧を念じています。校友会は今後も、卒業生に寄り添い、支え合える組織として、その役割を果たしていきます。

現在、現住所不明の会員が約6万人にのぼります。校友会では災害時のみならず、校友のネットワーク作りに注力しています。このネットワーク作りの一環として、支部のない地域に、支部を設立することが望まれます。

お知り合いの校友で住所変更の連絡をしていない方がおられましたら、以下までご連絡くださいますようお願いいたします。

なお、個人情報の管理には万全を期しています。

https://www.ryukoku.ac.jp/koyu_form/
<mailto:koyu@ad.ryukoku.ac.jp>



経営学部同窓会

「第4回 卒業生の集い」



11月30日、今回の「卒業生の集い」は、卒業生が一番多い大阪に集まることとし、校友の呉服弘晶さんが社長兼総支配人をされているホテル日航大阪にて開催しました。

当日は戸上先生、鈴木先生、加藤先生にご出席いただき、経営学部の学生を中心とした吹奏楽部のミニコンサートや抽選会で大いに盛り上がりしました。

本年は創設50周年を迎えます。経営学部同窓会は「笑顔で再会出来る場を 皆さまと共に作っていきたい」が創設当初からの思いです。同窓会員との意見交換を繰り返して、「50周年は必ず成功させよう!」と再会を約束しました。秋には記念事業(チラシ・同窓会HP参照)を開催しますので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。(会長 米田慎孝)

第29回定例総会 6月6日(土) 15時～ 深草キャンパス

経済学部同窓会

「第4回 ビジネス・ミーティング」



10月14日、卒業生の横の繋がりを期待してはじまったビジネス・ミーティングは今回で4回目を迎え、卒業生や在学生、教職員合わせて延べ250名に参加いただきました。

基調講演には盲目の弁護士として、弱者救済の視点で活動を行っておられる竹下義樹さん(75年法卒)をお迎えし、司法試験を点字受験へと制度改正した当時の苦労や、新社会人における権利と義務等、多岐にわたる分野のご講演いただきました。

また、その後のパネルディスカッションでは、経営者から経済学部を卒業して3年目の社会人を招き就職活動やキャリアアップ等、学生の悩みについての問答は白熱したものとなりました。

今年は11月3日(火・祝)の開催を予定しています。出身学部問わず皆様のご参加お待ちしております。

龍谷大学校友会女子会

「龍Ron小町」

各支部の「龍Ron小町」の活動

ぎんなん会(矯正・保護支部)

「ぎん凜会」発足にあたって



12月14日、緒方静子龍Ron小町会長を始め来賓の方をお招きし、在学生を含め24名の参加を得て和やかに「ぎん凜会」発足式を開催いたしました。職域支部という特徴を生かし、矯正・保護課程の学生の皆さんとも交流を持ちながら輪を拡げていくことができればと考えております。

(ぎん凜会会長 吉良仁美)

愛知県支部

「鵜飼イベント」



10月5日は暑いぐらいの気候でしたが、乗船すると風が心地良く、鵜が飲み込みに難儀するとされる『うなぎ』釜飯弁当を食べました。昼の鵜飼を初めて体験する人も多く、魚を捕る様子に歓声を上げながら鵜飼鑑賞を楽しみました。

(小島康江)

宮崎県支部

「オリジナルリップグロス作り～唇から香りを纏いましょう。」



10月5日、好きな香りと天然色素を選び、リップグロスを作りました。材料となる精油の作用や効能、家庭医薬としてのオイルの興味深い話を聞く中で、肩こりや膝の痛みに効くクリームは大好評。昼食時には参加者増に向けた話し合いを行いました。(小河昭子)

山口県支部

5周年特別企画「いだてんツアー」



10月18日、龍大卒業生を満喫する京都日帰り「いだてんツアー」を行いました。西本願寺や現役学生による解説付き大宮学舎の見学、ランチや菓子作り体験などで校友の絆も深まり、改めて素晴らしい大学で学ばせていただいたことに感謝し、誇りを感じるツアーとなりました。

(松田祥子)

東京・神奈川県支部

「学生支援～首都圏で働く・暮らす～情報交換会」



東京・神奈川県支部共催「学生支援～首都圏で働く・暮らす～情報交換会」を12月14日に開催。校友15名、学生20名が、東京オフィスで、スイーツを食べるのも忘れるほど、熱気あふれる質問会でした。熱心で落ち着いた学生たちと自由な雰囲気の中での交流となりました。

(大原延恵)

政策学部同窓会

「キャリアシンポジウム」



18年に初開催したキャリアイベントの第2弾として、12月13日にキャリアシンポジウムを開催しました。

今回は、学部と同窓会のコラボが実現しました。「七色のキャリア～自分らしいキャリアとは～」と題した企画では、政策学部卒業生によるパネルディスカッションを行いました。

今回の卒業生の共通点は、転職を経験していること。「自分は何を大事にしたいのか」先輩の経験から、自分らしいキャリアを考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

今後も、様々なキャリアイベントを企画していきます。

法学部同窓会

「第13回リユニオン」



11月3日ホテル日航プリンセス京都で、先生方、卒業生やその家族、約120名が参加し第13回リユニオンを開催しました。大いに盛り上がり、笑顔あふれる時間となりました。出席いただいた皆様方ありがとうございました。今年は10月31日に開催の予定です。法学部の行事が皆様の帰る場所の一つとなれば幸いです。

「20代30代のための20代30代による同窓会」開催のご案内

2020年6月6日に大阪で開催します。

会場、時間等はホームページ、Facebook、LINE等でご確認ください。

社会学部

龍谷大学瀬田学舎開学30周年記念「社会学部名刺交換会」



龍谷大学瀬田学舎開学30周年記念「社会学部名刺交換会」に、多くの校友の皆さんにご参加いただき感謝を申し上げます。

当日は、山田社会学部長をはじめ退職された先生方からもご挨拶をいただくとともに、社会学部を卒業された3名の方々から近況を交えて大学への思いを聴かせていただき、改めて校友と大学をつなげていくことの大切さを感じました。

2022年には、社会学部同窓会の創立30周年を迎えることから記念事業を企画してまいりますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

(同窓会長 荒川林太郎)

2018年度 龍谷大学校友会決算

自2018年4月1日 至2019年3月31日

(単位:円)

款	項	科 目	決算額
Ⅰ. 収入の部			
1	会 費		203,370,000
2	寄 付 金		0
3	広告料収入		0
4	提携カード収入		125,236
5	雑 収 入		21,109
6	その他の収入		2,000,000
7	積立金取崩収入		25,300,000
当年度収入合計(A)			230,816,345
前年度繰越金			13,305,126
収入合計(B)			244,121,471
Ⅱ. 支出の部			
1	事 業 費		172,834,799
2	運 営 費		19,566,643
3	施設設備費		0
4	新同窓会預り金		0
5	校友会ネーミングライツ関係費		10,000,000
6	危機管理費		2,258,698
7	積 立 金		20,021,109
8	予 備 費		0
当年度支出合計(C)			224,681,249
当年度収支差額(A)-(C)			6,135,096
次年度繰越金(B)-(C)			19,440,222

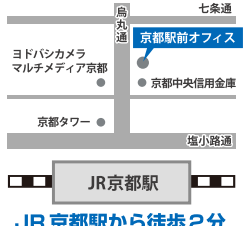
2018年度 貸借対照表

2019年3月31日 現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
大学預託金	313,178,137	予納金	49,750,000
預託現金(普通預金)	69,190,222	(19年度納入金4975名分)	
定期預金	243,987,915		
		小 計	49,750,000
		積立金・剰余金の部	
		特別事業積立金	22,560,196
		事業拡大積立金	125,308,964
		施設設備拡充積立金	44,077,593
		危機管理積立金	52,041,162
		繰越金	19,440,222
		小 計	263,428,137
合計	313,178,137	合 計	313,178,137

卒業生支援サービス(個別相談)の拠点変更について



龍谷大学では、オムロンエキスパートリンクと業務提携し卒業生の就職(転職)支援サービスを実施しています。現在の拠点は、オムロンエキスパートリンク梅田オフィス(ヒルトンプラザ・ウエスト)ですが、4月1日から同社京都駅前オフィス(ニッセイ京都駅前ビル7F)に変更して卒業生支援サービスを継続します。

支部の活動(報告)

広島県支部

銀河ランチクルーズ&交流会

9月16日、澄みきった秋の空の下、広島港を出航し、世界遺産の厳島(宮島)に向けて、瀬戸内海の島々の景色を眺めながら、ランチクルージングを楽しみました。厳島に上陸後、厳島神社を参拝し、支部会員経営のお店を訪ねたり、島内の神社仏閣や景勝地を散策したりするなど、喧騒な日常生活から解放され、心豊かなひとときを過ごしました。(支部長 神島誠)



大阪・中央支部

第9回本町音楽祭in北御堂

10月19日、龍谷大学バトン・チアSPRITSの華麗なるオープニング演奏にはじまり、黄色いトマトOB・OGの「稲荷マウンテンボーイズ」など全8バンドが熱演を繰り広げました。会場にはフランス料理店の協力やケータリングもあり、舌鼓を打ち音楽を聴きながら生ビールで盛り上がり、のべ200名を超えるお客様が心地よい音楽を楽しみました。(専務理事 山藤宗城)



奈良県支部

吉野・飛鳥への親睦交流会

12月14日、田中利典さん(79年文卒)が長藤をお務めの吉野の金峯山寺へ参拝。蔵王堂では、三千仏礼拝と田中長藤の楽しいお話とお堂内の見学をしました。奈良県立万葉文化館では令和で話題の万葉集や文化館建設時に見つかった富本銭のお話などを伺い、キトラ古墳壁画体験館四神の館を訪ね、初冬の吉野・飛鳥の文化を満喫してきました。(事務局 布谷香織)



クラブ・サークル周年事業

釣研究会OB会(龍釣会)

50周年記念パーティーを開催

9月22日に深草学舎22号館地下食堂において、釣研究会OB会である「龍釣会」の創立50周年記念パーティーを開催しました。現役幹部を含め、30名が集まりました。一時期は存続さえ危ぶまれた釣研究会ですが、OBも新入生勧誘を行い、見事に復活。親子で釣研究会というご家族も。

最後は皆で釣研究会歌。いつまでも、思い出の歌を忘れないOBばかりでした。(副部長 吉岡義信)



パナソニックグループ支部

(紫松会)主催

第6回紫松会BBQ大会

10月5日の爽やかな秋晴れに恵まれた大阪万博記念公園にて開催!紫松会主催ではありますが、大阪・北大阪支部、京都市支部、大阪・中央支部、ぎんなん会、法曹支部からご家族も交えて多数参加いただき、学生招待4名を加え計44名が集まりました。支部の横串を通し校友がひとつになつて、繋がりあえた有意義な一日となりました。(事務局 友田雅裕)



法曹支部・龍志会・RAS

無料相談室の開設

11月3日、深草学舎の官公庁への書類申請のこと、税金のこと、相続のこと、と等、多くの相談が寄せられ、本学の卒業生の弁護士、司法書士、行政書士、税理士の方々が回答しました。(RAS事務局 石田義憲)

10月25日、福岡県二支部の交流懇親会を開催し47名が参加しました。過去に二度ほど結成・自然消滅した経緯もあり、岡部慈眼福岡支部長からは「県統一」の交流会は念願でした」とご挨拶がありました。共通の知人や当時の話題で盛り上がり、コンパを思い出しつつ歌を歌い、京都ピンゴをして楽しく過ごし、博多での再会を約束しました。(北豊支部事務局長 大江智城)



福岡県・北豊支部と福岡支部

小倉での交流懇親会

12月22日、深草学舎和顔館において第11回総会・交流会を開催しました。当日は、会員約40人、教職志望在学生約120人、教職センター担当教員等計180人が参加しました。会員の実践報告、会員と学生との交流会、本学卒業生の武田緑さんが「多様な教育」について講演を行い、学生にとっては教職に対する意欲を高められ、会員相互の交流も深まり、学び多い充実した一日になりました。(支部長 佐古田英樹)



龍吟会 龍谷大学創立380周年記念吟詠発表大会の開催

12月1日、響都ホール校友会館において開催した吟詠発表大会では、日頃の吟詠研究活動を通じて、学外市民にもPRして存在意義を再認識していただきました。当日は、龍吟会(緑村流)以外の流派の方々やOBが多数参加して盛りだくさんの吟詠にぎわい、現役学生の放送局による司会進行、邦楽部や落語研究会の賛助出演などもありました。また、東京の緑村流吟詠会本部や校友会阪神支部の皆さん

も多数応援にかけつけていただき、舞台に一層花を添えてくださいました。(龍吟会師範 半田一清)



広告研究会 創部50年。令和に広がる龍大広研ネットワーク!

ご報告が遅くなりましたが、18年11月3日、静かな大宮学舎の清和館に、「龍大広研」という4文字のご縁でつながった100名弱のOB・OGが集合。創部にあたられた大先輩の号令で知らぬ者同士も大いに盛り上がりました。参加者は、酒販生協の会長、マンション管理士、コピーライター、漆器屋、朝ドラで話題の信楽の陶芸店主、祇園のお茶屋の若女将、社会人落語家、龍谷賞受賞の日本画家と挙げればキリがありませんが、この集いをきっかけに様々な交流が始まりました。令和の時代も新しいご縁が待っています!(広研50年祭実行委員長 森本多喜男)



『わるもん』
第42回すばる文学賞受賞
須賀ケイ(社会卒)
四六判 152頁
集英社 1,350円+税
19年2月5日発行



『ブッダの小ばなし』
—超訳 百喻経—
釈徹宗 監修
多田修 編訳
(89年文博満期退学)
B6判 120頁
法蔵館 1,000円+税
19年7月10日発行

校友の著書
『ブッダの小ばなし』
—超訳 百喻経—
釈徹宗 監修
多田修 編訳
(89年文博満期退学)
B6判 120頁
法蔵館 1,000円+税
19年7月10日発行

【告知】学友会体育局ラクロス部
創部30周年記念式典
日時:2020年6月6日(土) 14:30~
場所:ANAクラウンプラザホテル京都 平安の間
(京都市中京区堀川通 二条下ル土橋町10番地)
問合せ先:080-3847-9056 (実行委員 田丸恵士)
創部25周年記念の際には約200名のOB・OG・現役生にご参加いただきました。お子様連れのご参加も大歓迎です。ご参加お待ちしております。

仏教に学ぶ

英語で学ぶ仏教

「諸行無常」「諸法無我」「涅槃寂静」「一切皆苦」・・・。
ただでさえ漢字が並び、難しそうに思える仏教を、さらに英語で考えるなんて、余計に理解の難しさが増してしまうのではないかと懸念される方も多いと思います。しかし、仏教語は英語で考えた方が分かりやすいこともあります。

私はこの手法を使って、英語で学ぶ仏教講座を開催しています。英語が好きな方、観光通訳ガイドをされている方、東京オリンピックのガイドボランティアをされる方など、多くの方々に受講していただいております。

では、実際に仏教語を英語を介して理解すると、どのような感覚が得られるのか、冒頭で並べた仏教語を例にとって紹介します。

漢字に囚われず、英語の意味に注目してください。

「諸行無常」

Everything is changing. [もしくは Every phenomena is changing.]
(すべては移り変わっている)

「諸法無我」

Everything is interdependent.
(すべて[の物事]は相互依存している)

「涅槃寂静」

Nirvana is the state whereby one is no longer affected by any delusion and is at complete peace.
(涅槃は如何なる迷いの幻想にも悩まされなくなった境地であり、平和である)



スタンフォード大学での講演



マレーシアでの講演

「一切皆苦」

All impure phenomena are of the nature to suffer.
(不純な「目で見た」すべての現象は苦しみの本質である)

如何でしょうか。きつとあまりに簡易な表現で驚かれたのではないのでしょうか。実は、仏教語の英訳は漢字を翻訳しているのではないのです。サンスクリット語やパーリ語という仏教語の原点に立ち返り、その意味を抽出し、英訳されています。その結果、より丁寧な説明が包含され、理解しやすくなるのです。言い換えるならば、私たちが仏教語に持つ様々な先入観が拭い取られています。



東京オリンピック・パラリンピック 英語ボランティアガイド向け講習会

例えば、「仏」は「Dead Person」(亡くなった人)ではなく「Awakened One」(目覚めた者)、「苦」は「Suffering」(苦しみ)ではなく「Unsatisfactory Mind」(不満足の心)と訳されます。知ったつもりでいた言葉でさえ、私たちは誤解していることもあるのです。

最後に、英語で仏教語を説明するなかで、特に外国人から喜ばれたものがあつたので紹介します。それは「煩惱」の英訳でした。

学生時代は城陽市にあった東寮で2年間を過ごし、仕出屋で4年間みっちりアルバイトを続けました。卒業後は割烹料理のお店を転々として修行を積み、ファミリーレストランで経営も学びました。

自身でお店を持った最初は、樟葉の小さな和食のお店でした。その後、次々と新しい店舗を開店させ、これまで手掛けたお店は21店舗にも上ります。そのうち、いくつかは閉店しましたが、「栞屋」グループとして、いまは京都に12店舗、滋賀に2店舗を構えています。

「栞屋」という名前には、「本に栞を挟む時のように、ちょっとひと息入れたいときに栞屋をご利用いただきたい」という思いが込められています。

伏見大手筋にある創作和食料理の「Foods bar 栞屋」を訪れました。居心地の良いくつろげる場所をつくることにこだわり、長谷川さんが平面図を書き、内装を

お お ぎ な お ゆ き (しょうじゅん)
大來 尚順

浄土真宗本願寺派大見山 超勝寺 第14世住職
一般社団法人寺子屋ブッダ 理事
著述家 翻訳家

プロフィール

82年、山口市生まれ。05年龍谷大学文学部卒業後に渡米。米国仏教大学院に進学し修士課程を修了。その後、同国ハーバード大学神学部研究員を経て帰国。僧侶として以外にも通訳や仏教関係の書物の翻訳なども手掛け、執筆・講演・メディアなどの活動の場を幅広く持つ。
書籍：『カンタン英語で浄土真宗入門』(法蔵館)、『小さな幸せの見つけ方』(アルファポリス)、『訳せない日本語 日本人の言葉と心』(アルファポリス)、『英語でブッダ』(扶桑社)、『超カンタン英語で仏教がよくわかる』(扶桑社新書)、『端楽』(アルファポリス)、『つながる仏教』(ポプラ社)、『西洋の欲望 仏教の希望』(サンガ)
メディア：テレビ朝日「ぶっちゃけ寺」準レギュラー
テレビ山口tys「ちぐスマ」準レギュラー



一般的に「煩惱」は「Defilement」(汚れ)「Desire」(欲望)と訳されます。しかし、英語圏の人々にはどうもこの表現では「煩惱」を理解し難いそうです。そこで私は「Calculation」(はからい[計らい])「Self-Centered Calculation」(自分を中心とした計算)と別の表現で説明したところ、理解する上で何かもどかしかった部分がすっきりしたと大変感謝されました。

私自身、日本語で「煩惱」を分かりやすく説明しろと言われれば口ごもらざるをえなかった部分が、英語で表現することで明確に説明することができるようになりました。

英語を含め外国語を使用して仏教語を考え、またどのように伝えるか熟考することで、翻って日本語での仏教語理解の深化が促進されることもあるのかもしれない。



Foods bar 栞屋 (京都 伏見大手筋)



黒毛和牛の朴葉味噌焼

考え、インテリアも工夫したそうです。一方で、入口のわからないトイレなど、遊び心も大切にされています。もちろん、料理にも力を入れておられ、食材やお酒は京都のものにこだわっています。なかでも黒毛和牛の朴葉味噌焼きは伏見の地酒との相性も抜群です。

長谷川さんはデスクワークに徹底していますが、今年は各店舗を見て回ることを社員に約束したといいます。若い人の考えを取り入れ、グループの店舗をさらによりよいものにするためです。京都といえば創作和食料理の「栞屋」グループといわれることをめざし、そのことを通じて学生時代から自分を育ててくれた京都へ貢献していくことが、長谷川さんの願いです。

(株) chicfeel (栞屋グループ)

本社 〒612-8054 京都府京都市伏見区御堂前町621
各店舗については、こちらをご覧ください。
<https://shioriya.com/>

校友のお店
しおり
栞屋 グループ
京都に12店舗、滋賀大津に2店舗
手作り創作和食料理のお店

長谷川克明さん(79年経営卒)は、飛騨高山の出身です。将来について考えるうちに、和食店の経営を夢見るようになり、京都で学ぶのがいいだろうと、龍谷大学へ進学しました。大学では太田譲先生のゼミで、工業経営について学びました。



栞屋 (京都 四条烏丸)



ちよいと。栞屋 (京都 山科)



御肴凸鉢 (京都 京都駅)



御肴ずっころばし (京都 京都駅)



Wine 蔵 しおり (京都 京都駅)



栞屋さらさら (京都 四条烏丸)



栞屋一會 (京都 木屋町御池)



四季彩しをり (京都 四条木屋町)



石窯 Rossa Shioriya (滋賀 大津)



シオリヤ太陽族 (京都 大宮)

校友会では金品の支援ではなく、「こころの支援」を引き続き行っていく。それには校友のネットワークを充実させることが必要である。校友の連絡先不明を速やかに解消しなければならぬ。(米田)

校友会では金品の支援ではなく、「こころの支援」を引き続き行っていく。それには校友のネットワークを充実させることが必要である。校友の連絡先不明を速やかに解消しなければならぬ。(米田)

5面記事より、校友会、大学、親和会(保護者会)の三者共催は95年1月17日早朝に襲った阪神・淡路大震災がきっかけだった。校友会ではいち早く、被災された7000名の校友に急須とお茶や水などのお見舞いを送った。6月3日の全国校友大会では、チャリティオークションを行い、集まった義援金を兵庫県に贈った。さらに9月9日には神戸ベイシェラトンホテルで初めて大学と親和会との三者共催「龍谷大学阪神淡路大震災激励会」を開催した。当日2200名の校友・学生、そのご家族が参加、会場は笑いと熱気にあふれた。参加者からは「元気を頂きました」「これからも頑張ります」との声。このような取り組みは当日のTVでも放映され、龍谷大学の被災者の対応は他大学にも影響を与えた。

編集後記

今年定年退職される先生方	
〔文学部〕	2020年3月31日
龍溪 章雄 教授	
松倉 文比古 教授	
〔経済学部〕	
吉田 雅敏 教授	
稲垣 宏明 准教授	
〔法学部〕	
田中 滋 教授	
村井 龍治 教授	
持田 良和 准教授	
〔国際学部〕	
脇田 博文 教授	
〔農学部〕	
末原 達郎 教授	
〔短期大学部〕	
窪田 和美 教授	
星野 繁一 准教授	